

「仙台市復興推進計画（案）」の申請について

1 計画の目標と取組

復興推進計画については、1 月 27 日に宮城県と、製造業を中心とした「宮城県民間投資促進特区」を共同申請したところである。今般、本市の第二回目の申請となる「仙台市復興推進計画（案）」の第一弾として、東日本大震災で津波被害を受けた地域を中心に、農業及び関連産業に関する復興産業集積区域を設定した「(仮称) 農と食のフロンティア推進特区」を単独申請する予定である。

本計画においては、津波により壊滅的な被害を受けた本市東部の農業地域の再生を図るべく、「農地の大区画化や集約」、「法人化などの農業経営の見直し」、「市場競争力のある作物への転換や 6 次産業化の促進」などに取り組み、本地域をわが国農業が直面している諸課題に先駆的に取り組むフロンティアと位置付け、成長産業としての農業の振興を図ることを目的としている。

2 地域等の設定（別紙地図参照）

○復興産業集積区域

農と食のフロンティアとして産業の集積及び振興を図る区域
(東部地区農業振興地域)

3 復興推進事業の概要

○農と食のフロンティア推進事業

新たな農業法人や先進的な生産体制の確立を図るとともに、IT 技術など他分野との連携による生産性向上などにより、当該地域における先進的な農業生産の実現を目的とする。同時に市民による収穫体験や、農家レストランによる地場製品の提供など交流人口の拡大を図るなど、農産物と関連産業との連携や融合による農と食の産業振興を図ることを目的とする。

<集積を目指す業種>

- ①農業及び関連産業
- ②エネルギー関連産業
- ③試験研究機関産業

4 申請予定月日

平成 24 年 2 月 15 日